

地域活性化人材育成事業～SPARC～

ひとや地域(まち・文化・教育)のwell-beingに貢献する文系DX人材の育成シンポジウム

地域発DX

～「実践の知」が創る
ゆたかで活力ある山口の未来～

令和
8年

10月7日水

13:00▶16:00 (12:30開場)

※終了後情報交換会 16:10▶17:10

会場

湯田温泉こんこんパーク
(こんこん広場)

(〒753-0056 山口県山口市湯田温泉 5-2-15)



対象

人材育成、DXに関心のある企業・団体の皆様
地域連携に取り組む自治体の皆様
大学、高等専門学校、高等学校関係者の皆様

プログラム(予定)

- | | |
|-------------|---|
| 13:00 | 開会挨拶・来賓挨拶 |
| 13:20～13:35 | SPARC事業(文系DX人材育成と地域活性化の取り組み)の紹介 |
| 13:40～14:10 | DX×リカレント
DX先進企業のリカレント教育と大学への期待 |
| 14:10～15:10 | DX×PBL
PBLを通じた企業と大学による文系DX人材の育成 |
| 15:20～15:50 | パネルディスカッション
3大学で取り組む地域発DXに向けた人材育成 |
| 15:50 | 閉会挨拶 |
| 16:10～17:10 | 情報交換会 |

お問い合わせ先

山口大学企画部地域連携課

電話: 083-933-5630 メール: sh034@yamaguchi-u.ac.jp



お申込み

オンライン
同時配信



<https://forms.gle/jeqvva1bDNs6LZ88>

開催趣旨

山口大学、山口県立大学、山口学芸大学は、文部科学省の「地域活性化人材育成事業（SPARC）」の採択を受け、大学等連携推進法人である一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアムを形成し、文系DX人材の育成に取り組んでいます。事業期間6年（令和4～9年度）の前半3年間では、文系DX人材育成の共通科目を開発するとともに、各大学において専門教育課程を実現してきました。

令和7年度からの後半3年間では、文系DX人材育成の社会展開を図っており、PBLとリカレント教育を中心として具体的な事業を進めています。本シンポジウムでは、その内容について報告するとともに、事業終了までの1年半の計画と期待される成果について説明します。



プログラム(予定)

13:00

主催者挨拶

山口大学、山口県立大学、山口学芸大学の代表者による挨拶
国立大学法人山口大学長 谷澤 幸生

来賓挨拶

13:20～13:35

地域活性化人材育成事業

(文系DX人材育成と地域活性化の取り組み)の紹介

山口大学副学長（教育学生・大学連携担当） 野崎 浩二

13:40～14:10

DX×リカレント

DX先進企業のリカレント教育と大学への期待

DX先進企業としてリカレント教育をどのように捉えているのか、企業の視点からお話しいたします。また、大学での学びを事業の成長や発展にどう活かしていくのか、新たな価値の創出に向けて大学に期待する役割についてもお話しいたします。

村山 亨 様（住吉工業株式会社・執行役員・前田事業本部本部長）

モデレーター 藤本 正己 講師（山口大学教育・学生支援機構）

14:10～15:10

DX×PBL

クロストーク

PBLを通じた企業と大学による文系DX人材の育成

大学が取り組むPBL（課題解決型学習）に対して、期待する効果や成果について、ご協力いただく企業の立場で詳しくお話しいたします。

原田 泰蔵 様（株式会社原田屋・代表取締役）

吉本 龍太郎 様（株式会社中特ホールディングス・取締役・未来創造部部長）

市川 真也 様（防府通運株式会社・常務取締役・管理本部長）

モデレーター 湯浅 修一 准教授（山口大学教育・学生支援機構）

事例紹介

大学と学生が地域社会と連携し、ともに課題解決へ取り組む意義について、具体的事例を交えてご紹介します。

明日香 健輔 様（有限会社 FirstClass・代表取締役）

モデレーター 川尻 剛士 助教（山口大学教育・学生支援機構）

15:20～15:50

パネルディスカッション

3大学で取り組む地域発DXに向けた人材育成

3大学が連携して地域活性化に向けた人材育成に取り組むことの意義や、単独の大学では実現できない相乗効果について、教員の目線から議論を深めます。

モデレーター 湯浅 修一 准教授（山口大学教育・学生支援機構）

山口 光 教授（山口県立大学国際文化学部）

松村 納央子 教授（山口学芸大学教育学部）

15:50

閉会挨拶

公立大学法人山口県立大学長 田中 マキ子

16:10～17:10

情報交換会